

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1471001022
法人名	有限会社梨の実
事業所名	梨雲ハウス平戸
訪問調査日	平成29年2月25日
評価確定日	平成29年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
 外部評価は20項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [次ステップに向けて期待したい内容]  
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 28 年度

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471010022	事業の開始年月日	平成16年1月15日	
		指定年月日	平成18年4月1日	
法人名	有限会社梨の実			
事業所名	梨雲ハウス平戸			
所在地	( 244-8030 ) 神奈川県横浜市戸塚区平戸町1156-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成29年2月10日	評価結果 市町村受理日	平成29年6月23日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・近隣の方々の協力を得て畑に作物を耕作しています。四季折々の食材を楽しむ機会を大切にしています。出来るだけ手作りをモットーに栄養バランス等を考え、野菜をたくさん召し上がっていただいています。好き嫌い、食材の形状を考慮、工夫して食事をとれるよう考えています。

・職員にとって「家庭」と「仕事」の両立、「細く長く」をモットーにご利用者様、ご家族、地域の方々と馴染みの関係作りを心がけています。

・様々なボランティアの方々に関わっていただく中での役割を大切にしています。職員だけでは行き届かない介護をサポートしていただきながら、認知症の理解と共有を深め、互いに気づきの時間を作っています。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成29年2月25日	評価機関 評価決定日	平成29年3月31日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は、有限会社梨の実の経営で、平成16年に開設してからこの地で13年間「地域・人」との関わりを大切にしながら暮らしていく。そんな代表の想いの下、管理者と介護計画作成担当者の3人が中心となって、開設当初から地域に働きかけ、様々なボランティアの方々に関わっていただき、利用者が外部の人との接点や地域との関わりを維持できる事業所を目指しています。立地は「JR東戸塚」からバスで5分程、国道1号線沿いのバス停から徒歩3分の便利な場所に位置し、隣には竹林、裏庭では職員が地元農家の方から指導を受けながら野菜や果樹が育て、収穫を利用者と共に行い、食卓に並べるなど季節を感じてもらっています。

●事業所では平成19年から今日に至るまでの10年間にも及び「ひよどりの会」を継続して開催しています。「ひよどりの会」は退去後の家族、元職員、現職員が任意で集まり食事会やツアーを企画した、親睦会が行われています。また、2ヶ月に1回ペースで「梨の実塾」と銘打った勉強会も開催しています。「梨の実塾」は研修や講習会とは異なるもので、事前にアンケートを実施し、回答が多かった項目をテーマに取り上げ、講師の方に話して頂くなど教育の柱の一つになっています。「梨の実塾」の開催回数が年々増えていくにつれ、職員だけでなく家族や地域の方の参加も増えてきました。これから進んでいく高齢化社会の中で、在宅で介護をしていかなくてはならない現状が来ることも踏まえて、代表は出来るだけ多くの家族や地域の方々にも参加していただきながら、地域、人との関わりを大切にしていきながら暮らしていけるコミュニティづくりを目指しています。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	豊水

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過させている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所やヘルパールームの見えるところに「理念」を掲示し、皆で共有、実践するよう努めています。</li> <li>・豊かな土地を利用して裏の畑で育てたハヤトウリ、ヤーコン等々のご利用者様だけでなくご家族や近隣の方々にも行事の際に召し上がっていただいています。</li> </ul>	開設時に作成した「梨の実の理念」をフローと事務所に掲示し職員に周知しています。理念は代表の想いに沿って作成された「ご利用者が過ごしてきた生活体験を大切にし、自分らしく生きるための環境と家庭的な雰囲気の中でゆとりと生きがいの提供」です。ユニット毎に理念に沿ったカラーを作りあげること、理念の共有と実践に繋げています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボランティアに支えられ畑の作物の指導をいただいています。春にはふきのとう、たらの芽を収穫しました。</li> <li>・近隣の果樹園で梨狩り、地域の伝統芸能である「平戸囃子」や「獅子舞」を楽しんでいます。</li> <li>・地域の防災訓練に参加しています。</li> </ul>	「地域・人」との関わりを大切にしながら暮らしていくと言う想いの下、開設当初からボランティアの来訪は継続しており、現在ではハーモニカ、お茶の会、クラフト、コーラス等多様なボランティアの来訪があります。また、近隣の果樹園で梨狩りや地域の伝統芸能である「平戸囃子や獅子舞」の披露にも来てくれています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中学校（2校）から毎年「職業体験学習」を受け入れ、「認知症サポーター養成講座」を通して認知症の理解を広めています。</li> <li>・毎月1回老人会の訪問をうけGHの生活の様子を見ていただき理解をしていただいています。</li> </ul>		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回開催し、ホームでの生活の様子を報告しています。</li> <li>・それぞれのご家族が顔なじみになり、意見、希望、感想を伺う良い機会になっています。また、ホームに対する提案などあり積極的に関わっていただいています。</li> <li>・災害時のサポートなど、お話を伺うことができます。</li> </ul>	運営推進会議は年6回開催しており、自治会長、包括支援センター職員、民生委員、家族(6,7人)の参加を得て開催しています。事業所の現状・活動報告、災害時における協力体制、地域の行事等について話し合いを行っています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護受給者の相談等、区の方々と連携しています。特に医療分野についてはGHの生活の実情を伝えながら、安心して生活できるよう連絡を密にとりながら取り組んでいます。</li> <li>・地域包括センター等での集まりに参加しサービスの情報交換をしています。</li> </ul>	生活保護受給者の受け入れを行っている関係で、戸塚区の生活支援課とは必要に応じて連絡を取り合っています。地域包括支援センター主催のケアマネサロンにも参加し、情報交換を行っています。また、グループホーム連絡会にも加入し、講習会や研修会に参加しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>「身体拘束をしないケア」をしています。転倒や無断外出、外泊の危険に対しては職員間で話し合い、知恵を出し工夫し少しでも安全安心して生活できるように心がけています。</li> <li>出入り口は施錠をしていますが、いつでも出れるよう職員は鍵を携帯しています。</li> </ul>	「基本的に身体拘束をしないケアを心がける」ということを、会議の中の勉強会、毎朝の申し送り時に話し合い、身体拘束はしていません。現状、やむを得ず玄関施錠をし、職員が常に鍵を携帯し不自由な思いをしないように心がけています。利用者には「外に出る為の鍵」と説明しており、不自由な思いをさせないよう、外出の機会を多く作っています。ご家族にも同意を得て、「大切にしてもらっている」という言葉を得て、常に考え改善を心がけています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴や清拭時に身体に変化（あざ、傷）がないか観察しています。変化があった時はその時の職員と話し合いカンファレンスをしています。</li> <li>言葉の暴力に対してもフロア会議などで話し合っています。（言葉遣い等々）</li> </ul>		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見人制度を活用されているご利用者様が複数人いらっしゃいます。後見人の方と接することで金銭管理、入院手続き又、ホームで生活する上で様々な事について相談をしながらご利用者様の支援をしています。</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要事項説明書、利用契約書を説明してホームでの生活を理解していただきながらご家族の不安、疑問、要望等を伺うよう努めています。</li> <li>一人ひとりに見合った対応を心がけています。</li> </ul>		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に外部、内部の苦情窓口を説明し連絡窓口を玄関の見やすい所に掲げています。</li> <li>ご家族の面会時やケアプラン面談時にお話しする時間をいただきながら、随時職員に伝えることを心がけています。</li> </ul>	契約時に苦情相談窓口についての説明を行うと共に玄関に相談窓口の連絡先を掲示しています。家族からの意見や要望については、面会時やケアプラン更新時に直接伺っています。毎月のお便りでは、1ヶ月の生活の様子や行事の報告を写真入りで、家族に近況報告しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の意見や要望、提案を毎日の申し送り、朝礼、フロア会議等を設けています。</li> <li>・日ごろより代表者、管理者、主任からの声かけを心がけ職員の思いを汲み取ることを心がけています。</li> </ul>	職員からの意見や要望については、意見箱を設置していますが、基本的には業務の中や申し送り等で聞いています。また、職員間で確実に情報を共有するために、掲示板を作成し情報の伝達漏れを防ぐ取り組みも行っています。管理者は、職員が「家庭と仕事」を両立して働けるように勤務形態にも考慮するなどの環境整備にも力を入れて取り組んでいます。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の職員のライフスタイルを考慮し、無理をせず安心して気持ちよく仕事ができるような職場環境作りを心がけています。（日数、時間帯）</li> <li>・やりがい、向上心をもって働けるよう、日々の仕事についての思いや悩みを伺うようにしています。</li> </ul>		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部の勉強会として「梨の実塾」を開催しています。（年2～3回）</li> <li>・外部の研修にはなかなか参加できませんがホーム特別補佐、オブザーバの方にその都度、相談し指導をうけています。</li> </ul>		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の他事業所の行事に参加し代表者、管理者、職員との交流を心がけサービスの向上に努めています。</li> <li>・地域包括支援センターでの「ケアマネサロン」に参加し、他事業所との交流に努め、ネットワーク作りに努めています。</li> </ul>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居前にご本人・ご家族と面会し、これまでの生活、環境、要望を把握するように努めています。GHでの生活の様子を詳しく説明し不安なことがないように努めています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族の思いを十分引き出すことを心がけています。新しい関係作りなので、不安、悩み、希望を焦らず急がず、ご家族からの声を聞くことに努めています。</li> </ul>		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居時、その後一ヶ月を目安にGHでの生活の様子をご家族に報告しています。</li> <li>ご利用者様、ご家族の要望に合っているのか等々確認し、より良いサービスの提供に努めています。</li> <li>他のサービス利用について提案、支援をしています。</li> </ul>		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>日ごろの会話からご利用者様の思いや経験を知ることによって日々の介護に役立てよう努めています。</li> <li>ご利用者様がやってみたいこと、職員と一緒に取り組んでみたいこと等々意思の疎通に努め共に暮らし関係の構築に努めています。</li> </ul>		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご都合のよい時間に面会していただいています。外出、外泊、旅行等々、ご家族との時間を共に過ごしていただけるよう支援しています。</li> </ul>		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族、親戚、知人との面会や外出は自由にしていただいています。</li> <li>年賀状、暑中見舞い等その時期に合ったハガキを郵送しています。</li> <li>なじみの場所に職員と一緒に出かけます。</li> </ul>	<p>家族、親戚、知人との来訪は制限を設けず、気軽に訪ねて来やすい雰囲気作りを心がけています。知人の面会や昔の隣近所の方が来訪した際は、職員は笑顔で出迎え、職員からも積極的に話しかけ、職員共関係を構築することで足が遠のかないよう支援しています。レクで作成した絵葉書の記入や投函等も手伝っています。また、訪問美容やボランティアで事業所に来てくださっている方々とも馴染みの関係になっています。</p>	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者の皆様でテーブルを囲み、アクティビティに参加していただけるよう一人ひとりに、お声をかけています。</li> <li>職員が間に入りサポートすることで、良い関係を築くことが出来るよう努めています。</li> <li>ご利用者間の関係性の把握に努めています。</li> </ul>		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>退居されたご利用者様、ご家族とのご縁が続くよう、ご希望の方には「ひよどりの会」に入会していただいています。定期的に会報をお送りし、コミュニケーションを図っています。</li> </ul>		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の生活の中でご利用者様との会話の中から、ご要望やご意向を汲み取ることが出来るよう心がけています。</li> <li>ケアプラン時にはご家族からお話を伺い、どのような生活をしてほしいのか、ご希望をお聞きしています。</li> </ul>	事業所では「小さくても出来ることを続けていくことの大切さ」を方針に掲げています。入居時のアセスメントで家族から得られた情報を基に、日々の会話や生活の様子からや要望や意向の把握に努めています。家族からの情報だけに拘らず、様々な働きかけによって家族も知らなかった情報の発見に繋がることもあります。本人の要望や意向は、極力叶えられるようにケアプランにも盛り込んでいます。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご入居前にご家族とのアセスメントを行い、ご本人様のこれまでの生活環境や家族関係や趣味など、様々な情報をいただいています。また、その情報を職員皆が周知できるよう努めています。</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の申し送りで食事・睡眠・排泄、心身の状態など情報交換し共有しています。</li> <li>フロア会議でもそれぞれの情報交換をし、皆様の好きなことなど個性を大切にメリハリある毎日が送れるよう努めています。</li> <li>変化があるご利用者様には体調管理ノート・行動表を用いて現状の把握に努めています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの生活の様子を伺い、これからのホームでの生活に活かすよう努めています。また、ご本人様とご家族の気持ちや思いを汲み取り、これからの介護に役立てるよう努めています。</li> <li>定期的にご家族と面談し現状に即した介護計画を作っています。</li> </ul>	入居時のアセスメントで、これまでの生活歴や趣味嗜好を伺い暫定のケアプランを策定しています。その後は、日々のモニタリングで、ケース記録、夜間用情報交換ノート、体調管理ノートなどの細かく記録している情報や、職員の気づきを基に計画作成担当者が原案を作成しています。原案は各ユニットに置かれ、職員が自由に意見や気づきが記入できるようにして、フロア会議で意見を纏め現状に即したケアプランを作成しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の様子の変化を日誌、ケース記録にまた、夜間用情報交換ノート、体調管理ノートに記録し共有に努めています。</li> <li>現状に介護計画が見合っているのか、実践されているのかを確認し合い、職員間で共有しています。</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問リハビリを希望される方には「理学療法士」を依頼しています。また、他施設で生活している娘様とその職員、成年後見人と連携し、これからの生活について主治医に相談に行くなど柔軟な支援を心がけています。</li> </ul>		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のボランティアの方に定期的に訪問いただき、楽しんでいただいています。（お茶会、クラブ、ハンドマッサージ）</li> <li>地域の方を通じて梨狩り、畑の耕作など交流に努めています。</li> <li>GHの行事等で地域の方々のお手伝いをいただき交流に努めています。</li> </ul>		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様のかかりつけ医との関係を継続し良好な関係を保っています。</li> <li>状況に応じて職員も同行して状態を報告、相談しています。</li> <li>一人ひとりの状況を考え、かかりつけ医と相談し往診をしていただく等連携をとりながら対応しています。</li> </ul>	入居時にかかりつけ医の有無を確認し、かかりつけ医の主治医がいる場合は従来通り、かかりつけ医での受診をお願いしています。家族対応での通院または往診が可能な継続してもらっています。難しい場合は事業所の協力医を紹介しています。歯科医は必要な方のみの往診を受けています。現在訪問看護師との契約は行っていないが、緊急時や必要に応じて協力医より看護師に来ていただくなどの対応をとっています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護職員はおりません。必要時に主治医より訪問看護師を依頼しています。</li> <li>定期的に訪問看護師が入った時には、情報や日々の変化を伝えて、ご利用者が安心して生活できるよう努めています。</li> </ul>		
32		○入院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院時に職員が同行し説明しています。ADL表を提出しGHでの生活の様子を報告しています。</li> <li>退院時には病院からサマリーをいただき医師や看護師からご家族の説明時に同席させていただき注意事項等を伺い、これからのGHでの生活に活かしています。</li> </ul>		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様、ご家族の希望を伺い、主治医に相談しながらGHでの生活について三者で話し合いを重ねています。</li> <li>住み慣れたGHで最期をむかえたいと希望される方が増えています。主治医、訪問看護師、介護職員（日勤・夜勤）と連携してご希望にそえるよう努めています。</li> </ul>	契約時に家族及び利用者の希望を伺い、重度化した際に、事業所で出来る事出来ない事を説明しています。重度化した場合は、主治医と相談しながらグループホームで生活を継続することが可能か否かについて三者で話し合いを重ねています。近年では事業所で終末期を迎えたいとの要望も増えてきているので、主治医、看護師、職員で連携を図りながら希望に沿えるよう支援して行く方針でいます。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>日中、夜間の急変、事故時のマニュアルを各フロアに置いています。また、介護計画書に緊急時の連絡先を記載し、分かりやすい場所に掲示しています。</li> <li>消防署の署員より応急手当、緊急時の対応を学んでいます。</li> </ul>		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協体制度を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防訓練は年2回の開催を目指しています。</li> <li>地域の防災訓練に参加しています。GHの状況を把握していただけるよう努めています。</li> <li>備蓄倉庫を設置し防災用品の充実に努めています。</li> </ul>	防災訓練は年2回行っています。この地では過去に平戸川の氾濫が起こったこともあるため、消防と話し合いながら水害時におけるマニュアルの作成を検討しています。また、東日本大震災以降に裏庭に防災倉庫を設置し、発電機、水、テント、リアカー、米、炭、衛生用品等も準備しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に毎月のフロア会議等で「接遇」について話し合い、意識の向上に努めています。</li> <li>入居期間が長くなることから、気がつかぬうちに人格やプライバシーを損ねる言葉や態度をしていないか、職員間で気をつけるよう心がけています。</li> </ul>	毎月のフロア会議の中で定期的に「接遇」について話し合い、ケアや会話の中で利用者の人格やプライバシーを損ねるような言葉かけや対応が出ていないかの振り返りも行っています。入居期間が長くなって馴れ合いが生じないように「親しき仲にも礼儀をわきまえる」と共に、職員同士の言葉遣いにも注意しています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活での衣類の選択や、どのように暮らしたいか、やりたい事、行きたい所などを伺い、その思いを大切にしています。</li> <li>ご家族との話し合いから要望や希望を伺い思いを汲み取るよう努めています。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>その日の状態に合わせ、一人ひとりのペースを大切にしています。</li> <li>声かけを心がけていますが、その人それぞれの個性を鑑みての対応を心がけています。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの「身だしなみ」を心がけています。</li> <li>定期的にハンドマッサージ、訪問カット等をしています。（二ヶ月に一回）</li> <li>その日の洋服選び等、その人らしさを尊重することに努めています。</li> </ul>		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々からの差し入れや畑で収穫し、野菜、果物を利用して食事作りをしています。（なす、ジャガイモ、大根、イチジク、みかん等々）</li> <li>食事の配膳、片付けのお手伝いをいただいています。</li> </ul>	1,2階それぞれの職員が3ヶ月交替で1ヶ月分のメニューを利用者の嗜好に合わせて作成しています。米は農家に発注、生鮮食品は専門店、それ以外の物についてはスーパー等で調達しています。誕生日には本人の食べたい物を聞き、外食や出前を取っています。食事前後のテーブル拭き、お盆拭きなどを手伝って頂いています。地域の農家の方の指導もあり、裏庭で栽培している四季折々の果物や野菜は毎年たくさん収穫出来るので、アレンジして食卓に並ぶこともあります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事・水分チェック表に記録し一日の量を確認し適量の摂取に努めています。</li> <li>・その時の状態を見てキザミ、ミキサー、トロミなど形状を考え、盛り付け分量などの工夫をしています。</li> <li>・ご利用者様の変化に応じた支援に努めています。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後の口腔ケアに努めています。</li> <li>・月2回歯科定期健診を行い、その都度、医師の指示をいただき歯間ブラシやスポンジブラシの使用につとめ、口腔ケアをしています。</li> <li>・義歯使用の方は洗浄殺菌のため、夜間は職員が管理しています。</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄のパターンを把握し、タイミングを見て声かけ、トイレ誘導をしています。特に食後はトイレに座っていただき、気持ちよく排泄が出来るよう支援しています。</li> <li>・体調に合わせてリハパンを使用していただいた方もポータブルトイレからトイレ誘導ができるよう心がけています。</li> </ul>	排泄チェック表を基に個々の排泄パターンを把握し、表情や仕草を注意深く観察してタイミングを見計らった声かけでトイレ誘導を行っています。極力トイレでの排泄を促すように支援していますが、体調や状況に応じてポータブルトイレを使用している方もいます。便秘対策として、毎朝のラジオ体操や主治医の指導の下腸を活発にする運動、食物繊維の多い食事を摂ってもらうようにしています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操や手足の運動を毎朝行っています。特に便秘気味の方には、主治医からの指導で腸を活発にさせる運動などを個別に行っています。</li> <li>・胃腸に負担をかけない食事作り、乳酸飲料を定期的に摂取し、食物繊維の多い食材、低残渣食等心がけています。</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様の体調や様子を見ながら声かけをし、入浴していただいています。入浴の準備もその方に合わせてお手伝いをしています。</li> <li>・季節や行事を感じるできるように、菖蒲湯やみかん湯、ゆず湯を用意し入浴を楽しめるよう心がけています。</li> </ul>	利用者の体調や気分を考慮しながら、週2回以上の入浴を基本として支援しています。1,2階共に浴室にはリフトが付いていますが、重度の方は職員2名介助で対応しています。季節を感じてもらえよう菖蒲湯や、ゆず湯も行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の体調、意志を大切に、ご自由にしていただいています。寝具の洗濯、布団干し等のチェック表を作り、清潔衛生的な寝具で気持ちよく休んでいただけるよう支援しています。</li> <li>・居室の気温、湿度、照明を配慮し快適に過ごしていただけるよう支援しています。</li> </ul>			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの薬の説明書をファイルし、目的、副作用等確認しながら薬のチェックをしています。</li> <li>・一人ひとりの「配薬表」を作成し薬の変更などの対応に活かしています。</li> <li>・お薬手帳の役割、管理の共通認識に努めています。</li> </ul>			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの希望を伺いながら、どのような事に興味を持っているのか、ご利用者様に合った楽しみを提供できるよう心がけています。</li> <li>・洗濯物たたみ、モップ掃除、お盆ふき、またランプ、カルタ、クロスワードパズルなどそれぞれ楽しまれています。</li> </ul>			
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご希望を伺って生まれ育った場所に出かけました。</li> <li>・ご家族と一緒に国内、海外旅行を楽しまれるご利用者様もいらっしゃいます。</li> <li>・陽気の良い日は敷地内の散策、散歩をたのしんでいます。</li> <li>・ご家族と記念日を過ごされています。</li> </ul>	天気や気候、利用者の体調も考慮しながら、敷地内を歩いたり、ホテルの里、川上公園に散歩に行ったり、豊荘で開催される平戸吊るし飾り雛祭りを見に行くこともあります。遠出ではスカイツリーに出かけました。季節行事では、花見や初詣に出かけています。	今後の継続	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梨雲祭や近隣のバザー等で洋服や日用雑貨をみたり、お好きな食べ物を選び、買い物を楽しみました。</li> <li>・毎月の定期受診の際、売店で好きな食べ物を買って、喫茶コーナーで召し上がるのを楽しみにさせています。</li> <li>・日用品の買い物に出かけています。</li> </ul>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年賀状や暑中お見舞い等のハガキをご家族宛にお届けしたり、いただいたりと交流を心がけています。</li> <li>・ご本人の携帯電話で、自由にご家族と会話をしたりゲーム等をしています。</li> </ul>		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節のお花を用いてフラワーアレンジの時間を過ごしています。</li> <li>・行事の時の写真を壁に飾りGHでの生活を振り返ってもらっています。「私がいる」「ここに私は行ったの？」等会話を楽しんでいます。</li> </ul>	<p>キッチン是对面式になっており、職員が食事の準備や片付けをしながらでも、利用者の見守りができるようになっています。花屋に依頼し、生花で利用者と一緒にフラワーアレンジメントを行い、リビングに季節の花を飾り四季折々の季節感を感じられる取り組みを行っています。また、利用者が思い思いの場所で寛げるようソファをそれぞれ配置し、畳の部屋も利用でき、個々に居心地良く過ごせるように配慮しています。トイレの前には棚を設置し、トイレに入るとこを他の利用者に見られないように配慮もされています。</p>	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和室のソファでテレビを観られています。</li> <li>・その時々で思いでアクティビティに参加したり、その様子をご覧になる方、居室で休まれる方、一人ひとりの居場所を尊重しています。</li> <li>・塗り絵やクロスワードを楽しまれています。</li> </ul>		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅より使用していた家具やテレビなどを持ち込んでいただき、引き続き使っていただいています。</li> <li>・ご家族の写真や馴染みのある品物を置くことで安心して生活できるよう心がけています。</li> </ul>	<p>備え付けとして、エアコン、クローゼット、ベッドは用意されていますが、それ以外の家具や調度品については使い慣れた物や、馴染みの品を持ち込んでいただくように話しています。居室には家族写真、人形、タンスなどが持ち込まれ、その人らしい空間作りがされています。</p>	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレや居室など分からないために不安にされるご利用者がいらっしゃいます。一目で分かるよう大きな字で示しています。</li> <li>・人の動線に障害物等を置かないように、一つでもご自身で出来ることが継続できるよう工夫をしています。</li> </ul>		

目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸

作成日

2017年2月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居者のADL低下、持病の悪化、行動心理症状の変化に対する職員の理解が難しい。	介護方法、声かけ等を学び、より安全な介護を目指す。	入居者の変化に対する職員間の情報の共有	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	幸水

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルパールームや事務所の見やすいところに理念を掲示して皆で共有し、実践につながるよう努めています。</li> <li>入職前の説明会でも賛同していただけるようお伝えしています。</li> </ul>		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会に加入し、夏祭りや防災訓練に参加しています。</li> <li>地域のボランティアの方に支えていただいて裏の畑のお手伝いや毎年の梨狩り、獅子舞など行っています。</li> </ul>		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の方々へ夏祭りや梨雲祭への参加を呼びかけています。</li> <li>地域の老人会の方々が月1回ボランティアとして歌や傾聴、散歩など一緒に過ごしていただいています。また、認知症の方への理解につながるよう努めています。</li> <li>地域の中学校から体験学習の受け入れを行っています。</li> </ul>		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>年6回開催し、普段の生活の様子、行事での出来事などをお伝えしています。</li> <li>また、ご家族などに気になっていることなどを話していただける時間も設けています。</li> </ul>		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>単身の生活保護受給者の方には区の生活支援課の担当者の方と相談しながら協力関係を築くことができるよう努めています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束をしないケアの実践に努めています。</li> <li>・危険防止、防犯、無断外出外泊を考えてやむを得ず施錠をしています。対応として職員は常に鍵を携帯しご利用様が不自由な思いをしないよう心がけています。</li> </ul>		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄、入浴、薬の塗布、着替え等の際、傷や痣など体の変化がないか確認しています。</li> <li>・言葉づかいや態度についても職員間で伝え合うことを心がけています。</li> </ul>		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見人制度（司法書士、弁護士）を活用されているご利用様がいらっしゃいます。</li> <li>・ご利用者様、成年後見人とのコミュニケーションをはかり、日常生活に活かしています。</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約前と契約時に重要事項説明書、契約書を説明しています。</li> <li>・GHでの生活の疑問や希望など含め理解していただけるよう努めています。</li> </ul>		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に内部、外部の苦情相談窓口について説明しています。</li> <li>・運営推進会議、行事、面会時、ケアプラン面談時等の中でお互いの意識の摺合せをしています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の申し送り、朝礼、定期のフロア会議等で意見や要望、提案を出し合っています。</li> <li>・常に話しやすい雰囲気作りを心がけています。</li> <li>・意見箱を設置しています。</li> </ul>		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のライフスタイルを考慮し、曜日、日数、時間帯、時間数を伺い安心して働いていただける環境作りに努めています。</li> <li>・突発的な事情による遅刻、早退、欠勤、休職にも柔軟に対応するよう心がけています。</li> </ul>		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修の「梨の実塾」を開催しています。</li> <li>・ホーム特別補佐（元ホーム長）、オブザーバーに仕事の中で介護技術等々を相談し教えていただいています。</li> </ul>		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の他事業所の行事に参加し、お互いのサービスの向上につながるよう努めています。</li> </ul>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前面談時の聞き取りの際、今までの生活様式、環境、家族、状況を把握することに努めています。</li> <li>・安全面に配慮しながら、ご利用者様の要望に耳を傾けながら、職員間で話し合い実現に向けて努めています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談時に不安や悩み、希望を伺い、ご家族の意向の把握に努めています。</li> <li>・ご家族が気軽にお話ししていただけるような雰囲気づくりを心がけています。</li> </ul>		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居して約一か月過ぎた頃、GHでの様子をお伝えし、どのような生活を望まれているのか話し合う時間を設けています。</li> <li>・訪問リハビリなど他のサービス利用の対応に努めています。</li> </ul>		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来ること、やりたいことをご本人と話し合いながら一緒に生活できるよう支援しています。（洗濯物干し、たたみ、テーブル拭き、下膳や食器洗い、ゴミだし）</li> </ul>		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人にホームでどのように生活してほしいか確認し合い、双方の良好な関係作りに努めています。</li> </ul>		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご都合のよい時間に面会に来ていただいています。</li> <li>・長い間お付き合いのある美容室にご家族と一緒に出かけられます。</li> <li>・他のご利用者と馴染みになられる方もいらっしゃいます。それぞれの思いを汲み取りながらの支援を心がけています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立のないようご利用者様の関係性の把握に努めています。</li> <li>・聴覚の不自由な方との関わりも職員が代弁などして良好な関係を築けるよう努めています。</li> </ul>		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約終了時に「ひよどりの会」の入会を呼びかけています。引き続き、継続した関わりの方を作っています。（会報や行事の参加、お手伝い等々）</li> </ul>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心のある塗り絵や相撲鑑賞（含むビデオ）、散歩の機会を作っています。</li> <li>・困難な場合は今までの生活歴や現在の様子に見合った思いを話し合い、検討しています。</li> </ul>		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族と相談しながら、馴染みの物品等を居室に置いていただき、今までの生活環境やなじみの暮らしをしていただけるよう努めています。</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りや朝礼などにご利用者様の情報の把握や共有に努めています。</li> <li>・状況が大きく変化してきた方には、一日の様子が分かる「状況表」を作成し、皆で共有し合っています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族、必要関係者と定期的に、ご本人の状況に合わせ一緒に話し合いを重ねています。</li> <li>様子の変化に合わせ、その時々に応じた介護計画の作成に努めています。</li> </ul>		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護日誌に記録をしています。また、個々のケース記録に入力しています。</li> <li>また、状態に応じて行動表を作成、記録に努め、その情報をもとに介護計画の見直しに活かしています。</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身の変化に合わせて理学療法士との連携、成年後見人制度の活用など取り入れています。</li> <li>福祉用具等サービスについて話し合い、柔軟なサービスの対応を心がけています。</li> </ul>		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の老人会の方々との関わりから、一人ひとりの個性を引き出しす機会をいただいています。</li> <li>多様なボランティアの方々とお過ごしことで豊かで潤いのある時間の提供に努めています。</li> </ul>		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族の希望にそって、かかりつけ医を決め、定期的な受診、往診をしています。</li> <li>かかりつけ医との良好な関係作りに努めています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職員はおりません。</li> <li>・訪問看護師との情報の共有、相談を心がけ連携に努めています。</li> <li>・個々のご利用者様が不利益のないように正確な情報の提供を心がけています。</li> </ul>		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院と協力し、入院中も外出という形でGHで過ごす機会をつくり、早期退院ができるよう努めました。</li> <li>・入院時、入院中、退院時、その時々GHとして出来ることを探し、関係者と相談しながらご利用者様が安心して治療できるよう努めています。</li> </ul>		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHでの終末期についてお話をしています。ご本人、ご家族との話し合いを重ねる中で主治医との擦りあわせをしています。</li> <li>・状況の変化を考慮しながらご家族、主治医、訪問看護師、職員と協力しながらチームとして取り組めるよう支援しています。</li> </ul>		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急変時や事故時の対応マニュアルをフロアに置きいつでも確認、活用できるようにしています。</li> <li>・急変時の個別の対応や連絡先は介護計画書に記載されています。</li> </ul>		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防、防災訓練を行うことで火災、災害時の対応を身につけることに努めています。</li> <li>・備蓄倉庫を設置し災害時での対応方法を考えています。</li> <li>・地域の防災訓練に参加し地域との関係性を築けるよう努めています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遣いや対応について申し送りや会議等で話し合い、確認共有に努めています。</li> <li>・ご利用者様には、職員間の関係性も大きく影響されることがあります。お互いが一人の人格としての対応に努めるよう意思の疎通を心がけています。</li> </ul>		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの選択肢を用意して自己決定の機会をつくるよう努めています。</li> <li>・自己決定の困難な方には表情やしぐさから思いを汲み取るよう心がけています。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけご利用者様のペースを大切にしながら、過ごしていただけるよう心がけています。</li> <li>・ご利用者様の希望に出来るだけそった支援を心がけています。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな色の洋服などご希望を伺い、おしゃれを楽しめるよう心がけています。</li> <li>・美容師の方に希望をお伝えしながら、お気に入りの髪型にさせていただいています。</li> <li>・ハンドマッサージのお手入れをさせていただいています。</li> </ul>		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に応じた野菜、食材を取り入れています。畑で収穫した野菜や果物を召し上がっています。</li> <li>・配達された食材や野菜を一緒に台所に運んだり、食事前の準備や下膳、食器洗いや整理などその時に出来るお手伝いをさせていただいています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、水分、排泄表を使用し、一人ひとりの摂取量を把握し、状態に応じた支援を心がけています。</li> <li>・その時のご利用者様の状態に合わせ、食材の形状を考えながら提供しています。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後の口腔ケアに努めています。磨ききれない方には職員がお手伝いしています。</li> <li>・訪問歯科で月2回の検診をしています。医師のアドバイスでスポンジブラシや糸ようじで対応をしています。状況によってその都度、診ていただいています。</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの排泄パターンを把握した上での声かけを心がけています。 (排泄表を用いてその日の状態を職員は共有し合う)</li> <li>・出来る限りトイレでの排泄支援に努めています。</li> </ul>		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日一回のラジオ体操、また散歩、アクティビティなどで体を動かすことを心がけています。</li> <li>・適量の水分摂取、胃腸に負担のかからない食事作りをしています。</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの状態を把握し安心して入浴を楽しんでいただけるよう努めています。</li> <li>・季節に合った入浴を心がけています。 (ゆず湯、菖蒲湯、みかん湯等々)</li> <li>・重度の方にはリフト浴、全身清拭等での支援に努めています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下にベンチを置き、一人の時間が過ごせるような空間を作っています。</li> <li>安心安全に休まれるよう居室の整理整頓、清掃、寝具類の洗濯等、衛生面に気をつけています。</li> <li>ご利用者様に合わせ日中も適度な休息を促しています。</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとり、配薬表や個人ファイルで内容を把握することに努めています。</li> <li>服薬担当者がおりますが、その日の職員は必ず確認して服薬支援に努めています。</li> <li>受診時の記録、情報を共有確認し、ご利用者様の変化に対応し服薬支援に努めています。</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>居室の掃除、洗濯物干しとたたみ、ゴミだしなど一人ひとりの張り合いや喜びにつながる事を見つけて関わっていただいています。</li> <li>一日3回喫煙の時間を、楽しまれているご利用者様がいらっしゃいます。</li> </ul>		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内の畑にみかんやイチジクの収穫をしていただいています。ベンチに座り皆で果物をいただいています。</li> <li>庭に咲いている花々を見ながら、季節を感じていただいています。</li> <li>ご利用者様の希望でドライブやスカイツリーに出かけています。</li> </ul>		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員と一緒に近隣のコンビニ、ホームセンターなどにお買い物に出かけています。</li> <li>近隣の施設のバザーなどにでかけ、お買い物を楽しみました。</li> <li>お金を所持していることで、安心して生活ができていますご利用者様がいらっしゃいます。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑中見舞い、年賀状など季節にそったハガキを送っています。(含む職員の代筆)</li> <li>・電話はもとより、ご自身で携帯電話をお持ちの方もいらっしゃいます。操作等のサポートをしています。</li> </ul>		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床暖房や空調設備によって不快感のないように気をつけています。</li> <li>・混乱を招くような音や光など配慮し、未然に対応することを心がけています。</li> <li>・その時期に見合ったお花を飾ったり、手作りの飾り物を展示しています。</li> </ul>		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和室のソファでテレビ鑑賞（相撲や高校野球、ビデオ等）をゆったりと過ごされています。また、気の合ったご利用者様同士、職員と過ごす時間を大切にしています。</li> <li>・廊下にベンチを置き、一人で落ち着ける空間を作っています。</li> </ul>		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族と相談しながら使い慣れた家具や物品を置いています。また、ご利用者様のADLに合わせ物品の配置を提案し、相互の理解に努めています。</li> </ul>		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレや居室がわかるように大きめの字で掲示しています。</li> <li>・ご利用者様が自立した生活ができるように歩行時の安全、分かりやすい家具等の設置等を工夫しています。</li> </ul>		

# 目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸

作成日

2017年2月25日

〔目標達成計画〕

優 先 順 位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	27	勤務時間が様々なので 情報が行き届かない ことがある。	すべての職員が同じ 認識のもとケアが できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送りが途切れないように一定期間を設けて申し送りを継続する。</li> <li>・様々な出勤時間の職員にその都度ポイントの申し送りをする。</li> </ul>	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。